

参 考 资 料

1 新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会 委員名簿

(敬称略、五十音順：令和5年1月26日時点)

有識者	いなにわ さわこ 稲庭 彩和子	国立美術館本部主任研究員
	かきうち えみこ 垣内 恵美子	政策研究大学院大学名誉教授 川崎市文化芸術振興会議会長
	さとう しんや 佐藤 慎也	日本大学理工学部教授 八戸市美術館館長
	たかの あきひこ 高野 明彦	国立情報学研究所名誉教授
	たなか ともあき 田中 友章	明治大学理工学部建築学科教授 「エコシティたかつ」推進会議副委員長
	にしかわ こうへい 西川 広平	中央大学文学部教授
	やぎはし のぶひろ 八木橋 伸浩	玉川大学リベラルアーツ学部教授 川崎市文化財審議会委員
公募市民	さいとう きみ 齋藤 希実	公募市民
	ほさか ようこ 保坂 陽子	公募市民

2 川崎市市民ミュージアムの現在の活動（令和4（2022）年度）

【令和4（2022）年度の主な活動】

(1) 展覧会・上映会

① 【事業名】のぞいてみよう昔の暮らし - 昭和から平成へ -

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年6月18日～8月28日	大山街道ふるさと館	3,062名
概 要		
各時代に市内で実際に使われていた道具を公開し、昭和から平成の暮らしの変化について紹介。		

② 【事業名】「河 あの裏切りが重く」 デジタル修復版 35mm フィルムプレミア上映会

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年9月2日	多摩市民館 大ホール	199名
概 要		
原版となるフィルムが市民ミュージアムのみに残る貴重な映画について、被災収蔵品のレスキュー活動により蘇ったニュープリントを上映。		

③ 【事業名】川崎市市民ミュージアム 出張 タヤけ上映会

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年9月17日	等々力緑地 催し物広場	187名
概 要		
被災収蔵品の修復が完了した作品を市民に見ていただくとともに、映画鑑賞体験を楽しんでいただく機会として開催する野外上映会。		



①のぞいてみよう昔の暮らし
- 昭和から平成へ -



③川崎市市民ミュージアム
出張 タヤけ上映会

④ 【事業名】救う過去、つなぐ未来 -川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展-

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年8月16~22日	高津区役所	—
令和4(2022)年10月18~27日	市役所第3庁舎	
令和4(2022)年11月2~10日	中原市民館	
令和4(2022)年11月16~24日	宮前区役所	
令和4(2022)年12月2~14日	麻生市民館	
令和5(2023)年1月18~26日	幸区役所日吉出張所	
令和5(2023)年1月31日~2月5日	多摩区役所	
概 要		
被災時の状況、被災収蔵品のレスキュー・修復活動、現在の市民ミュージアムの各種事業について、大型パネルによる展示を、市内の各区を巡回して行い、多くの市民に現状を報告。		

⑤ 【事業名】被災から今、ふたたび -川崎市市民ミュージアム 修復収蔵品展-

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年9月20日~10月8日	ミュージアムシンフォニーホール 企画展示室	838名
概 要		
被災収蔵品の修復について、修復が完了した収蔵品の一部を、その処置の過程を含め公開するとともに、修復に関する様々な技術をパネル及び動画等を用いて紹介。		

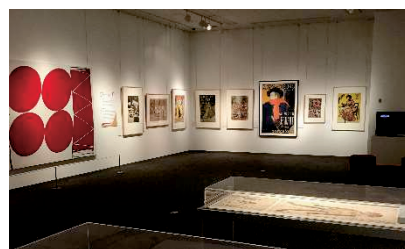
⑥ 【事業名】鉄道開業150年記念展 川崎鉄道三題噺

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年10月1日~11月27日	東海道かわさき宿交流館	3,870名
概 要		
川崎市は国内でも最初に鉄道が通った地域のひとつであることから、新橋・横浜間鉄道、京浜電気鉄道、新鶴見操車場の3つのトピックを主に取り上げ、鉄道の歴史における川崎の重要性や特質を紹介。		



④ 救う過去、つなぐ未来

-川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展-



⑤ 被災から今、ふたたび

-川崎市市民ミュージアム修復収蔵品展-



⑥ 鉄道開業150年記念展

川崎鉄道三題噺-川崎市市民ミュージアム修復収蔵品展-

⑦【事業名】オンライン展覧会「the 3rd Area of “C” -3 つめのミュージアム-」

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年12月20日～ 令和5(2023)年3月31日	市民ミュージアムの ウェブサイト上に開設	—
概 要		
令和3年度に、館内の事業、アウトリーチ活動に続く、3つめの活動の場(エリア)にしていきたいという思いをこめてウェブサイト上にミュージアムを開設。令和4年度は3つの展覧会を開催。		

⑧【事業名】第56回かわさき市美術展（Ⅰ入選作品 Ⅱ入賞作品 Ⅲ表彰式）

会 期	会 場	来場者数
Ⅰ 令和5(2023)年2月23日～3月1日 Ⅱ 令和5(2023)年3月3日～3月11日 Ⅲ 令和5(2023)年3月4日	ミュザ川崎シンフォニーホール 企画展示室	—
概 要		
川崎市の芸術文化活動の振興を目的に昭和42(1967)年から行われている展覧会。川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている人々から作品を公募し、審査の上、入賞及び入選作品を展示する。		



⑦the 3rd Area of “C”
-3 つめのミュージアム-



⑧第56回かわさき市美術展

(2) 教育普及

① 【事業名】すみであそぼう ～みずでえがく、すみのいろ～

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年5月5日	とどろきアリーナ 研修室1・2	43名
概 要		
身体を動かしながら自由にかたちを描いていくことで、表現の楽しさを体感し、美術（表現）への興味を深めることを目標として、墨と紙（和紙）に触れ、「水墨」という分野を体験するワークショップ。		

② 【事業名】さわれるシネマ フィルムでアニメーションをつくってみよう

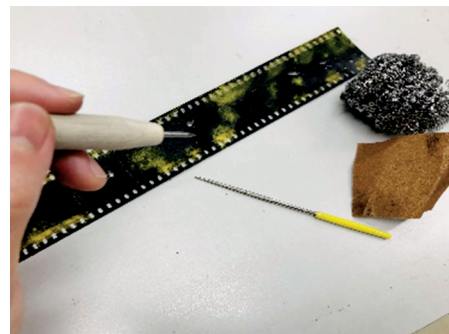
会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年8月11日	川崎市生涯学習プラザ	28名
概 要		
映画の原理等を伝えることを目的に、子ども及び大人向けのワークショップをそれぞれ実施。併せて被災を免れたフィルム作品を上映し、休館により活用機会が少ない収蔵品を市民に紹介。		

③ 【事業名】親子向け対話型鑑賞および創作活動「家族でつくるアート・メモリー」

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年10月15日	ミュージアム川崎シンフォニーホール 研修室1～3	61名
概 要		
小学校低学年までの子どもをもつ家族を対象に、芸術を身近に感じてもらうことを目的として実施するワークショップ。		



①すみであそぼう
～みずでえがく、すみのいろ～



②さわれるシネマ
フィルムでアニメーションをつくってみよう

④ 【事業名】市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年8月～ 令和5(2023)年3月	オンラインで実施	—
概 要		
収蔵品や研究成果を発信するため、学芸員が専門分野についてわかりやすく解説する動画を講座形式で配信（全5回）。		

⑤ 【事業名】史跡めぐり - 夢見ヶ崎 紅葉の道を歩く -

会 期	会 場	来場者数
I 令和4(2022)年11月19日 II 令和4(2022)年11月26日	幸区内	29名
概 要		
地域の歴史を掘り下げ、地域の文化振興やふるさと川崎への帰属意識を醸成することを目的に史跡めぐりを実施。併せて収蔵品を活用し、市民ミュージアムへの関心を高めるきっかけとする。		

⑥ 【事業名】オンライン美術鑑賞ワークショップ「言葉で旅するアーカイブ～目の見えない人と見える人が川崎の風景を語る～」

会 期	会 場	来場者数
I 令和4(2022)年12月3日 II 令和4(2022)年12月10日	オンラインで実施	12名
概 要		
障がいの有無に関わらず、すべての人に収蔵品を鑑賞する機会を提供し、開かれたミュージアムとなることを目指して実施するワークショップ。過去に被災により中止した企画を、オンラインを活用して実施。		



⑤史跡めぐり
- 夢見ヶ崎 紅葉の道を歩く -



⑥言葉で旅するアーカイブ

⑦ 【事業名】社会科教育推進事業

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年6月～ 令和5(2023)年3月	市内各校	—
概 要		
小学4年生を対象とした二ヶ領用水に関する学習プログラムを、出張授業・資料貸出・教材送付の形式で、申込のあった学校宛に実施。		

⑧ 【事業名】スクールプログラム

会 期	会 場	来場者数
令和4(2022)年4月～ 令和5(2023)年3月	市内各校	—
概 要		
出張事業が中心となることを踏まえ、これまで実施してきたスクールプログラム（勾玉作り等）に加え、学校との連携を深めることを目指し、市民ミュージアムの収蔵品を活用する新たなプログラムを考案・実施。		

(3) 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務

- ・ 収集対象資料に関する情報の収集、所有者等への意向の確認等、収集に関して必要となる事項についての調査・折衝や、収集した資料の研究、適切な保管のための修復等の業務を実施。

(4) 広報に関する業務

- ・ 各種広報媒体の作成と活用、HPの管理運営、メディアリレーション、年報及び紀要の作成等の儀業務を実施。

(5) 収蔵品の外部利用に関する業務

- ・ 収蔵品等について、他の博物館等から依頼があった場合の貸出しに関する対応及び熟覧、模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供する特別利用に関する業務を実施。

(6) ミュージアムショップの運営に関する業務

- ・ 市民ミュージアムが作成した図録、オリジナルグッズ等をミュージアムショップ（オンライン）で販売。

(7) 危機管理に関する業務

- ・ 消防・防災訓練や風水害マニュアルに基づく情報付与訓練等の各種訓練を実施。



⑦ 社会科教育推進事業
（二ヶ領用水ワークブック）



(6) 川崎市市民ミュージアムオンラインショップ

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市